

| | |
|-----|----------------|
| 事業名 | 地域情報通信基盤管理運営事業 |
|-----|----------------|

| | |
|------|-----------|
| 総事業費 | 59,497 千円 |
|------|-----------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 快適な生活環境の整備 |
| | 基本事業名 | 住環境の整備 |

② 実施 (Do)

| | | |
|--------------|---------------------|--|
| 事業の意図 | 安定的な通信の確保、機器の正常な運用。 | |
| 事業の実績 と成果 | 取組内容 | 光ファイバー通信網については、民間移譲について通信事業者と協議を行った。また、通常通りの屋外工事の受付を行った。ライブカメラについては、老朽化した施設について更新を行った。 |
| | 成果 | 次年度中に民間移譲にこぎつけるように手続を進めることとなった。また、ライブカメラ更新により画質の向上へとつながった。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|---|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | 光ファイバー網の民間移譲にかかる各種手続について、市民の理解を図りながら慎重に行う。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 光ファイバー網を民間に譲渡することで、市民にとって、①新規引込代金(27,500円)がなくなる。②申込や修理窓口の一本化。③修繕対応の迅速化などメリットが多く見込める。市側も事務負担の軽減、単年度収支改善、設備の高度化へ経費面の対応など利点がある。経費はかかるが民間譲渡に向けた取組を進める必要がある。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|------------|--|
| 2025年度 方向性 | 通信事業者と民間移譲についての検討を行い、スムーズな手続が進められるよう努める。 |
|------------|--|

| | |
|-----|----------|
| 事業名 | 公営住宅改修事業 |
|-----|----------|

| | |
|------|-----------|
| 総事業費 | 15,963 千円 |
|------|-----------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 快適な生活環境の整備 |
| | 基本事業名 | 住環境の整備 |

② 実施 (Do)

| | | |
|--------------|--|--|
| 事業の意図 | 西之表市公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した公営住宅の個別改善等を行うことで住環境の向上を図り、適切なストックマネジメントの推進を目指す。 | |
| 事業の実績 と成果 | 取組内容 | 古園団地木造住宅（6棟6戸）の既設汲み取り式トイレを水洗トイレに改修する工事（合併浄化槽設置、内装・外構工事、換気扇・照明取替等）を行った。 |
| | 成果 | 対象住戸の機能改善や長寿命化が図られ、入居者の満足度に寄与した他、設備が現行の国整備基準に合致することで居住水準が向上した。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|--|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | 事業実施は、西之表市公営住宅等長寿命化計画に基づいたものであるが、計画の内容や投入可能な財源に対して、改修が必要な住宅が多い。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 今回の取組で、市街地周辺で集約・建替対象を除く木造住宅のトイレが全て水洗化され、現行の国整備基準に沿うことになったが、その他の公営住宅についても改修を要する箇所が多いため、引き続き長寿命化計画や上位計画との整合を図りながら、事業の適切な実施に努めなければならない。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|------------|---|
| 2025年度 方向性 | 当該年度中の大規模改修予定住宅なし ※鴨女町団地第1工区新築工事に着手中 ※既存住宅については随時補修対応等を行う |
|------------|---|

【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|---|--|
|  | <p>(写真)</p> <p>古園団地木造住宅改修工事…6棟6戸、トイレ水洗化他「工事前」・「工事完了」</p> |

| | |
|-----|----------|
| 事業名 | 公営住宅解体事業 |
|-----|----------|

| | |
|------|------|
| 総事業費 | 0 千円 |
|------|------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 快適な生活環境の整備 |
| | 基本事業名 | 住環境の整備 |

② 実施 (Do)

| | | |
|--------------|--|---|
| 事業の意図 | 極めて著しい老朽化等により供給不可能となった公営住宅の解体を行うことで、適切なストックマネジメントの推進と市有財産の有効活用を図る。 | |
| 事業の実績 と成果 | 取組内容 | 普通財産所管の財産監理課の依頼に基づき、安納団地（簡易耐火平屋・1棟2戸）の解体工事を行った。 |
| | 成果 | 解体工事が完了し、公営住宅のストック管理に寄与した。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|---|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | 解体を含む公営住宅のストック管理は、西之表市公営住宅等長寿命化計画に位置付けられる必要があるが、これには住宅の老朽化現状や財源確保等を含め、総合的に検討・判断しなければならない。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 用途廃止から工事依頼を経て解体を行った最初の事例であったが、特に問題なく進めることができた。今後解体対象となる一定数の住宅に対しても、適正な計画の下で管理を行う必要がある。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|------------|--|
| 2025年度 方向性 | 当該年度中の解体予定住宅なし ※令和9年度以降の鴨女町団地完成後には解体対象となる公営住宅が多数生じる見込 |
|------------|--|

【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|---|--|
|   | (写真) 安納団地解体工事…簡易耐火平屋・1棟2戸 「工事前」・「工事完了」 |

| | |
|-----|-----------|
| 事業名 | 公営住宅等整備事業 |
|-----|-----------|

| | |
|------|------------|
| 総事業費 | 309,690 千円 |
|------|------------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 快適な生活環境の整備 |
| | 基本事業名 | 住環境の整備 |

② 実施 (Do)

| | | |
|--------------|---|--|
| 事業の意図 | 公営住宅等長寿命化計画及び鴨女町団地建替基本計画に基づく公営住宅の建替により、公営住宅全体としての居住水準の向上が図られるとともに、適切なストックマネジメントを推進する。 | |
| 事業の実績 と成果 | 取組内容 | 鴨女町団地建替基本計画（令和3年度策定）の事業スケジュールに基づく令和6年度事業として、「第1工区新築工事」、「第1工区工事監理委託」、「第2工区解体設計委託」、「建替移転個別対応」等を実施した。 |
| | 成果 | 建替第1工区に係る「建築工事」、「機械設備工事」、「電気設備工事」、「外構第1期工事」の契約を締結し、年度中に各工事に着手。 うち、「外構第1期工事」については、都市計画法上の開発許可工事に該当するため、工事終了後には県の完成検査を受検した。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|--|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | 建替基本計画に基づいて行う各年次の事業は、内容や事業費等の規模も大きいため、適切かつ慎重に進める必要がある。 特に、令和7年度は、第1工区の新築工事の継続費予算の2ヶ年目にあたるが、工事スケジュールに遅れが生じているため、逡次繰越後の運用や国費の受け入れに留意しながら進めなければならない。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 令和6・7年度の2ヶ年で第1工区の工事を行うこととしているが、工事スケジュールの遅れや当初想定外の工事（開発許可上の道路支障物撤去、排水暗渠入替）が生じている。 昨今の建設費高騰等と合わせて十分な協議・対策を行い、方針や体制を整えて適切に対応する必要がある。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|------------|---|
| 2025年度 方向性 | 建替基本計画に基づく事業スケジュール（6か年）における4年目事業を計画的に進める。 |
|------------|---|

【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|---|---|
|  | <p>(写真)</p> <p>建替第1工区工事 「着工前」・「着工後」</p> |

| | |
|-----|----------|
| 事業名 | 住宅環境整備事業 |
|-----|----------|

| | |
|------|----------|
| 総事業費 | 1,530 千円 |
|------|----------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-------------|-------|------------|
| 長期振興計画の位置づけ | 施策名 | 快適な居住環境の整備 |
| | 基本事業名 | 住環境の整備 |

② 実施 (Do)

| | | |
|----------|---|--|
| 事業の意図 | 住環境の向上及び市内業者の振興を図るため、住宅の耐震診断・耐震改修工事、リフォーム工事を促進する。 | |
| 事業の実績と成果 | 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業の主旨に則った相談等に対応し、補助制度の活用を案内した。 ・「住宅改修工事費補助金」について、当初設立（H21年）から約15年間で一定の効果があったことや現在の市内事業者の状況等を踏まえ、廃止検討を行った。 |
| | 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業内で5種類整備されている補助制度のうち、実績があったのは「住宅改修工事費補助金」の12件、合計1,530千円のみであり、他については相談ベースに留まった。 ・リフォーム補助については、財政部局の指摘や効果に係る所管検討を経て政策調整会議（産業振興部会）にて提案・協議後、令和7年度を最終年度とすることにした。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|------------------------|---|
| 事業実施上の課題（事業担当者記入） | <ul style="list-style-type: none"> ・耐震関係補助や危険建築物関係の補助は、過去に一度も利用実績がないため、制度の周知や内容の見直し等を含め、相談・利用しやすい仕組みの再検討が必要。 |
| 評価結果の根拠及び今後の課題（担当課長記入） | 最もニーズが高い「住宅リフォーム補助金」であるが、本来は市内建築関係業者に対する工事発注や雇用確保を目的としたもので、近年は利用件数も減少傾向にあることから、一定の効果は果たしたと捉え、「補助制度廃止」とすることで一般財源の縮減に努める。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|------------|--|
| 2025年度 方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム補助を最終年度とし、市民に対して適切な周知を図ったうえで制度廃止を行う。 ・耐震関係補助や危険建築物関係の補助は、内容や周知方法の見直し等を含め、相談・利用しやすい仕組みを再考する。 |
|------------|--|

【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|---|--|
|  | <p>(写真)</p> <p>住宅リフォーム工事補助 「工事前」・「工事了」</p> |